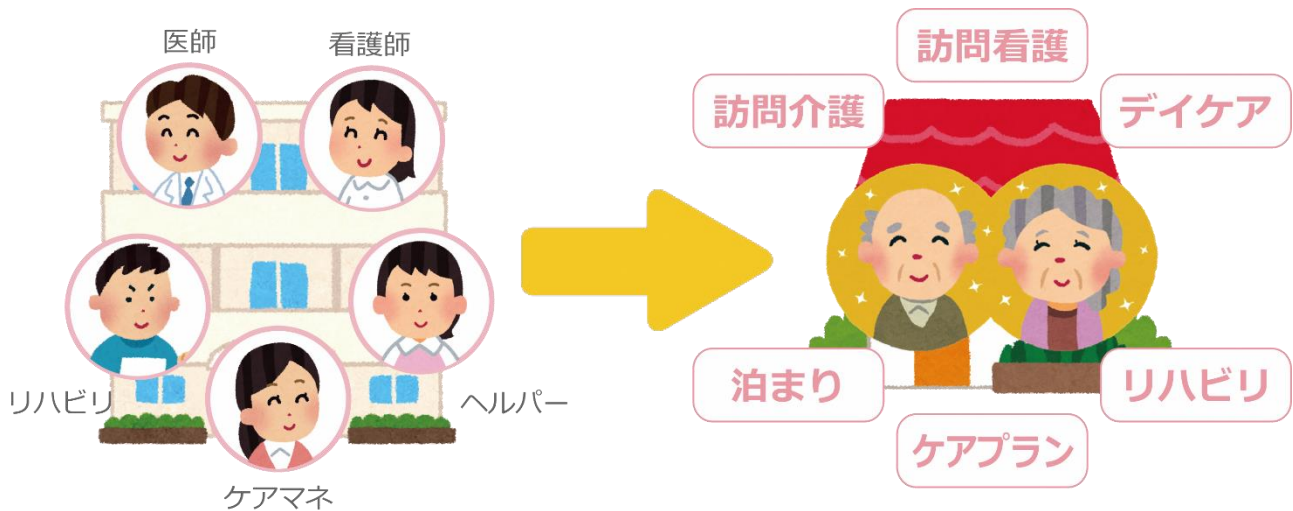


令和元年度 第1回北空知地域入退院支援研修会

～療養が必要な住民を支援する支援者の力量アップのために～



北空知地域の医療関係者と地域支援関係者が

連携して入退院支援を進めていく関係を築く

- 1 支援関係者が、本人や家族の思いに添った支援ができるようになる
- 2 医療関係者と地域支援関係者が、情報を共有し同じ目標で支援ができるようになる

とき 令和元年7月22日(月) 18:15～19:45 ところ 深川市立病院 2階 会議室

18:15	開会・挨拶 大場小部会長
18:20	1 事例紹介「スタマケアを通じて、本人・家族への支援を深める」 提供者 深川市立病院 4 東病棟 看護師 ※事例発表(10分)、質疑(5分)
18:35	2 事例検討 「本人・家族の思いに寄り添った在宅生活への移行支援について」 「そのためにどのような情報を共有し整理ができればよいかについて」 (1)検討の進め方(5分) (2)自己紹介&テーマに沿って検討(40分) ①本人・家族に寄り添った支援をするためには、どのような情報・関わりが必要ですか (これまで必要だったこと、これから必要なことを考えてみよう) ②このような方が退院した際に、どのような支援ができますか (終末期を含め、それぞれの職種の視点で支援方法を考えてみよう) (3)全体共有・アンケート記入(20分)
19:40	閉会・挨拶 河野部会長

主催:北空知地域医療介護確保推進協議会 共催:北空知介護支援専門員連絡協議会

「ストマケアを通じて、本人・家族への支援を深める」

《18:20～18:35（15分）》

◎ 事例発表（10分）、質疑応答（5分）

※事例発表後に質疑を受け共通理解を深めます。

さらに質問があるグループには事例関係者が巡回して応答します。

《18:35～19:20（45分）》

1 検討の進め方（5分）

2 自己紹介：最近のマイニュースを添えて自己紹介

3 司会の役割：テーマについて意見を出しやすい雰囲気をつくる

書記の役割：模造紙に記録する（発表時に貼りませんので自由に記載）

4 事例検討（自己紹介・役割決め含め40分）

テーマ（1）「本人・家族の思いに寄り添った在宅生活への移行支援について」

（2）「そのためにどのような情報を共有し整理ができたらいかにについて」

＜検討の視点＞

- ①本人・家族に寄り添った支援をするためには、どのような情報・関わりが必要ですか
（これまでに必要だったこと、これから必要なことを考えてみよう）
- ②このような方が退院した際に、どのような支援ができますか
（終末期を含め、それぞれの職種の視点で支援方法を考えてみよう）

①②の順で検討しますが、②に時間を割いて話し合います。

①、②それぞれを模造紙に記録します。

⇒アンケートの記載のアナウンスを行う。

《19:20～19:40（20分）》

5 全体共有・アンケート記入

・GW発表（話し合いの1例を紹介）

※いくつかのグループにインタビューします。

※重なってもよいので紹介したいものを発表してもらおう。

・事例提供者から感想を一言

・アンケート記入

この事例は介護保険などのサービス利用の希望をせず自宅退院された方です。終末期で病状の変化により様々な支援課題が予測されます。みなさんが本人や家族だとしたらどのような支援を受けたいですか。あるいは、みなさんが支援の中心的立場だとしたらどのような支援をしますか。一緒に考えてみましょう。

◎グラウンドルール◎

- ☺ みんなで考え全員が発言する
- ☺ 他の意見を否定しない、アラ探しをしない
- ☺ 人の話はさえぎらない にこやかに
- ☺ 各々の専門性や経験・知識を交換しましょう

